

同時進行型



新潟市立沼垂小学校
田 辺 和 明

実践テーマ

児童が書いた説明文を拡大提示し、観点に沿って書かれているかをみんなで話し合う。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 ・前時までに書き込みをした3種類の自動車の画像を提示し、前時までの振り返りを行う。
 ・電子黒板のブラインド機能※を使って、はしご車当てクイズを行う。(興味・関心を高める)
- 〈展開〉 ・はしご車の画像と動画を提示し、児童が書き込みをしながら、はしご車の仕事とつくりについて考える。(説明文を書く観点を見付ける)
 ・電子黒板に教科書の説明文のパターンを提示し、はしご車の説明文を書く。書かれた説明文を実物投影機で電子黒板に投影し、発表する。
 ・はしご車の仕事とつくりが、きちんと書かれているかをみんなで話し合う。(観点に沿って書かれているかを確認し合う)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに学習した3つの自動車画像への書き込みを見直し、デジタル教科書の朗読に合わせて音読することで、学習の振り返りを行う。 電子黒板のブラインド機能を使って、はしご車当てクイズをする(PC教材①)。 はしご車の説明文作りをすることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はしご車の静止画 使用するソフトウェア： デジタル教科書(光村図書出版(株))
展開	<ul style="list-style-type: none"> はしご車の画像や動画に書き込みをしながら、はしご車の仕事やつくりを話し合う(PC教材②)。 前時までに学習してきた教科書の説明文のパターンを確認する。 できた説明文を実物投影機で提示しながら、発表する(静止画①)。 発表された説明文に、はしご車の仕事とつくりが書かれているかを話し合う(静止画②)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●はしご車の静止画・動画 ●児童が書いた説明文の画像
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 自分の書いた説明文を読み直し、間違いを確かめる。 次時は、いろいろな自動車の仕事とつくりを調べ、自動車図鑑作りをすることを知る。 	



ブラインド機能を使ってのはしご車当てクイズ



はしご車のつくりを書き込みながら説明



児童が書いた説明文に書き込みや線を引いて確認

児童の反応・効果

- はしご車の動画を見たことで、はしご車の多様なつくりを見つけ出すことができた。
- 児童が書いた説明文を拡大提示しながら発表したことで、友だちの文章に、はしご車の仕事とつくりがきちんと書けているか確認しやすかった。
- 児童が書いた説明文を拡大提示したことで、友だちの文章の良さや工夫した所にも気づきやすくなり、自分の説明文にも生かそうとする姿が見られた。

活用のポイント

- 静止画だけでなく動画も見せ、はしご車のつくりを見つけさせる。その際、画像に書き込みをしながら説明させることで、はしご車のつくりをクラス全体で確認する。
- 児童が考えたはしご車のつくりを黒板に板書で残しておくことで、説明文を書く際の手がかりにする。書くことが苦手な児童への支援となる。
- 話し合いで出された考えは、拡大提示した児童の説明文にサイドラインを引いたり、書き込みをしたりすることで確認していく。

※ブラインド機能 電子黒板に表示された画面の一部をグレー等のスクリーンで隠して提示する機能。マスク表示ともいう。